

自民・船田氏「明らかに解釈変更」 学術会議人事を批判

大久保貴裕

2020年10月5日 16時45分



自民党の船田元・元経済企画庁長官は5日配信のメールマガジン（メルマガ）で、「日本学術会議」が推薦した会員候補のうち6人を菅政権が任命しなかったことについて、「明らかに（法律の）解釈の『変更』だ」と批判した。事前に国会などにも説明が無かったとして「結果として闇討ちのような形になってしまったのは残念だ」とも記した。

---

• 日本学術会議の任命除外、枝野氏「明確な違法行為」

船田氏はメルマガで、「1983年に（日本学術会議の）会員の公選制から任命制に変更した際は、私も衆議院文教委員として審議に携わった」と振り返り、「（政府は当時）『推薦者は拒否しない形だけの推薦制』『形式的な任命制』と口をそろえていた。この時の答弁が、直近まで有権解釈として政府が受け継いできたはずだ」と強調した。

また、任命されなかった6人の共通点として「組織犯罪処罰法や平和安全法制、特定秘密保護法など、国の重要政策に反対の意思表示を行った」と指摘。「任命拒否の背景が透けて見える」「『反対するとういうことになる』と抑止効果を狙ったものとしか思えない」とつづった。（大久保貴裕）